

2月6日の神戸新聞朝刊には男子バレー部県新人大会優勝の記事が掲載されていました。記事を読むとこの大会においては



神戸新聞 2/6 朝刊

顧問の岡元先生が高校1年生に在学中以来の優勝と書かれてあり、驚くと共に歴史が動いてきたなど感じさせられました。この勢いを県総体、春高バレーに結びつけて欲しいですね。優勝おめでとうございます(写真左)。

2月9日・10日の毎日新聞朝刊には本校の記事が掲載(写真右2枚)。今回選抜大会に向けて本校の取材記事をいろいろと掲載していただくことになりました。まずは昨年度の戦いからの記事です。取り組んだ内容の紹介をこのような形で記事に掲載されることは生徒達は勿論、保護者の皆様、本校関係者にとってもとても励みになります。



多くの方に読んでいただき本校のことを知っていただけたらと思う反面、周りからの注目に耐えられる学校にしていかなければならないことを痛感しています。多くの方々に認めていただける学校になるように生徒と一緒に頑張りたいと思います。



2月6日から生活科学科がインターンシップに行かせていただいています。9日に加東市給食センターに行ってその活動を見てきました。所長の案内の元、生徒達が指導いただきながら具材を切ったり、混ぜる作業をしたり、味見をしたりと実際の現場での体験を積むことができています。去年は実施できなかったのですが、貴重な体験をさせて

いただいていることを実感しました。他にもこども園、ホテル、施設、ケーキ屋さんなど多くの場所で受け入れていただいています。生徒達もそのことに感謝して頑張ってくれているようですので、戻ってきてからの成長に期待したいと思います。受け入れ先の皆さん、ありがとうございます。



2月7日からスキー実習に行っていた体育科1・2年生が9日夕刻実習を終えて帰ってきました。生徒達の顔は充実感であふれており、先生方も特にこの実習は唯一、1・2年生が合同で宿泊し、体育科生としての自覚を持たせる絶好の機会と捉えて臨まれていたので、良い実習ができたようです。大会が一段落しているこの時期、授業としての実習で得た力をそれぞれの部の活動に活かし、頑張ってくれることを期待しています。引率の先生方ありがとうございました。

また2月10日の神戸新聞朝刊では、山本監督、高原部長と一緒に神戸新聞社を表敬した際の記事が掲載されました。選抜大会への意気込みや学校の様子など聞いていただき、バレー部の新人大会優勝等今の3年生の活躍が1・2年生につながりを持っていることについて話をさせていただきました。監督からのチームを仕上げて総合力を上げていくという力強い話が掲載。体育科中心の部活動のように思われがちですが、ソフトボール部の県新人大会ベスト4をはじめ、女子バスケット部のベスト16、ソフトテニス部ベスト32等、今までの壁を破って挑戦している普通科・生活科学科中心の部活動にも影響を与え、学校全体の盛り上がりを感じていることも伝えてきました。ただ、さらに上を目指し、自分を磨いていくためにはやはり謙虚な気持ちで向き合うことが大切ですので、これからはそういった姿勢も問われることになると思います。こういった取材が増えてくることはありがたいですし、生徒の皆さんにも注目は集まってくると思いますので、誇りと自信を持って自分たちの活動に取り組み、その成果を発信していきましょう。よろしくお祈りします。



さて、マスクの扱いについて議論が進められているようですが、皆さんはどのように考えていますか？自らの健康を守る手段として必要な道具ではありますが、コミュニケーション能力を高めるためには表情で相手に気持ちを伝えることも大切です。その場に合った対応ができるように準備をしていきましょう。